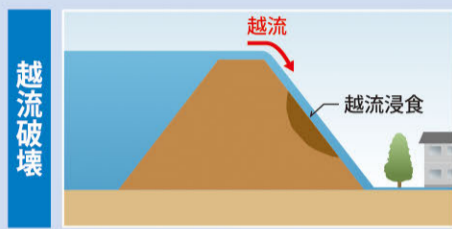
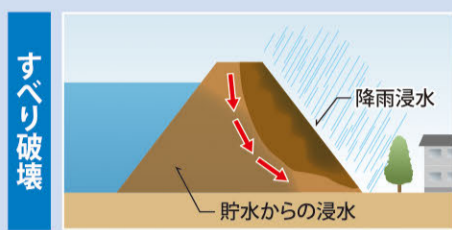
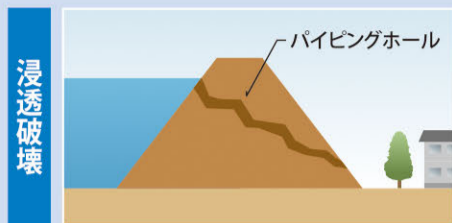


大雨によるため池の決壊

豪雨によるため池の被災メカニズム

地域によって異なりますが、1時間に20ミリ以上、また降り始めから100ミリ以上の雨が続いたら、災害の危険性が高くなります。浸水対策を含め、十分な警戒が必要です。

被災形態



被災メカニズム

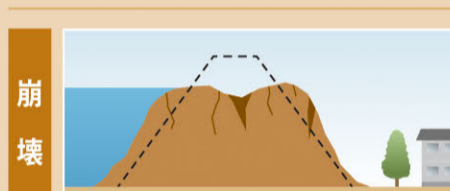
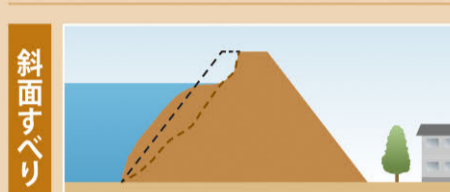
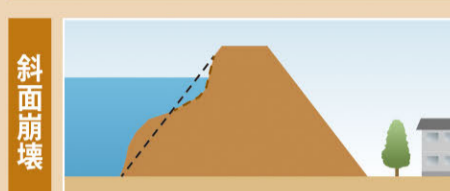
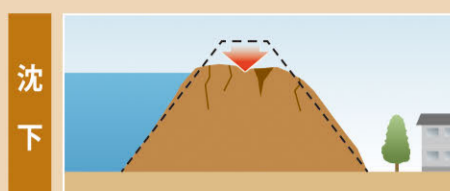
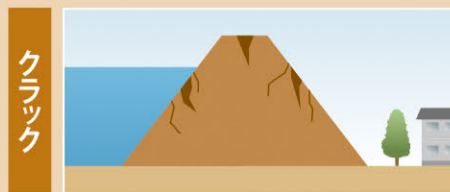
- 堤体内部が劣化し、水を遮る機能が低下すると、貯水位が上昇した時に堤体内の水圧も上昇し、堤体の強度が低下することで、破壊する場合があります。
- 堤体内に上流から下流に向かう水みちが発生し、堤体を破壊する場合があります。
- 貯留した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内部の水分量が増加し、堤体の法面の強度が低下することにより、すべりが発生し破壊する場合があります。
- 豪雨により貯水位が急激に上昇し、堤体を越えて流れ出すと、下流斜面を流下することにより、堤体の法面を破壊する場合があります。
- 貯水位の上昇により、堤体内の水圧が上昇し、強度が低下して堤体の法面を破壊する場合があります。

大雨のときは、河川の氾濫や河川堤防の決壊、土砂災害も同時に起きる可能性があります。

地震によるため池の決壊

地震によるため池の被災メカニズム

被災形態



被災メカニズム

- 堤頂部などにクラック(亀裂)が発生し、堤体が破壊する場合があります。
- 堤体の上下流方向に生じるクラック(亀裂)は水みちとなることがあり、特に注意が必要です。
- 堤体の形状をほぼ保ち、クラック(亀裂)などを伴いながら堤体が沈下する場合があります。
- 多くは軟らかい地盤で発生しています。
- 堤体法面の上部が沈下し、下部がはらんで変形が生じる場合があります。
- 地震動により堤体の法面にすべりが発生する場合があります。
- 堤体や地盤が大きく変形し、崩壊する場合があります。
- 決壊に至ることが多く、堤体や基礎地盤の液状化によるものと考えられます。

地震による決壊は、地震の揺れを原因として一気に起こる場合と、しばらく時間が経過した後に起こる場合があります。

いざという時のために、家族と地域で防災について話し合みましょう

●避難情報

警戒レベル	避難情報	状況	とるべき行動
4	避難指示	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難
3	高齢者等避難	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難

●正しい情報を入手しましょう

テレビやラジオ、インターネット等で気象情報や雨量情報等を確認することができます。自ら積極的に情報を収集しましょう。



●避難の心得

日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。



浸水時に長靴は厳禁

長靴は中に水が入ると非常に歩きにくくなります。ひも付きの運動靴・動きやすい服装で避難しましょう。



車での避難は避けて

普通自動車は約30cmの浸水で走行困難になります。浸水時、自動車での避難は危険です。



状況により、すばやく避難

避難情報が発令されていなくても、状況などから判断し、自主的に避難しましょう。

避難の準備も忘れずに

非常食は3日以上準備する

防災ホイッスルの準備も有効

災害時の連絡方法

災害用伝言ダイヤル 1771

このサービスは、大規模な災害が発生した場合、「声の伝言板」(安否情報)の役割をする電話サービスです。被災地内とその他の地域の人々との間で、伝言の登録・再生をすることができます。

災害用伝言板サービス

災害時に、携帯電話各社から「災害用伝言板サービス」が提供されます。利用方法については各社ホームページ等でご確認ください。

ため池の異常をいち早く発見するには、日頃の管理が重要です

●日頃のため池管理

ため池の草刈

- 堤体上の雑草は、ため池の亀裂や陥没、変形、モグラの穴などの変状を確認する上で妨げになります。
- 年に数回程度は草刈りをし、樹木類は幼木のうちに伐採して、ため池の異常を早期発見しましょう。

漏水の確認

- 漏水等の確認のため定期的な巡視を行いましょう。
- 漏水があっても直ちに危険ということにはなりませんが、流水に堤体の土が混じり濁った場合は特に注意が必要です。水位を下げて市へ相談してください。

余水吐の管理

- 余水吐はため池の規定水位を保つための施設ですが、この余水吐に土のうや材木等で堰上げをして貯水量を増やすことは、ため池の決壊を招く恐れがありますので、絶対にやめてください。
- 余水吐に流木やゴミがある場合や草等が茂っている場合、洪水時の流水の妨げとなり近隣の農地等が被災することがありますので、日頃からゴミ等の除去をしましょう。

貯水位の適正な管理

- 長期間にわたり水位を下げておくと堤体に亀裂が生じることがあり、この状態で急激に水位を上昇させると浸透水で堤体が壊れる場合があります。
- 逆に、満水状態から急激に水位を下げると堤体がすべりを起こすことがありますので、日頃から適正な管理をしましょう。

大雨や局地的豪雨、地震があった場合は、十分に注意しながらため池の監視を行ってください。また、現地で行動する際は、安全確保のため、必ず2人以上で行動してください。

▶ため池の異常に気がいたら 浅口市役所へ連絡してください

浅口市役所 (0865) 44-7000



浅口市メール配信サービス

イベントや募集情報などの市役所からのお知らせ・防災・緊急情報・気象情報・地震・津波情報などの最新情報を登録したメールアドレスにお知らせします。

(登録方法)

- 1 e-asakuchi@xpressmail.jpへ空メールを送信してください。
- 2 折り返し、登録用メールが届きます。案内に従ってご登録ください。

▼登録用

